

2021 年 11 月 28 日（日）施行

第 204 回 全経簿記能力検定試験 2 級 商業簿記 解答

第 1 問

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	未 払 利 息	27,000	支 払 利 息	27,000
2	電 子 記 録 債 権	140,000	売 掛 金	140,000
3	当 座 預 金	12,000,000	資 本 金	6,000,000
	株 式 交 付 費	300,000	資 本 準 備 金	6,000,000
			現 金	300,000
4	営 業 外 受 取 手 形	30,000	備 品	600,000
	備品減価償却累計額	420,000		
	固 定 資 産 売 却 損	150,000		
5	繰越利益剰余金	12,250,000	未 払 配 当 金	9,500,000
			利 益 準 備 金	950,000
			別 途 積 立 金	1,800,000
6	未 払 法 人 税 等	720,000	当 座 預 金	720,000
7	損 益	240,000	本 店	240,000

第 2 問

期末現金・預金	期末純資産（資本）	売上総利益	当期純利益
¥ 1,446,000	¥ 1,162,000	¥ 493,000	¥ 27,000

第3問

商 品 有 高 帳

A 商 品

令 3 年	和 年	摘 要	受 入			払 出			残 高		
			数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額
9	1	前月繰越	30	2,000	60,000				30	2,000	60,000
	3	高知商店	50	2,400	120,000				80	2,250	180,000
	7	高知商店				5	2,400	12,000	75	2,240	168,000
	10	愛媛商店				28	2,240	62,720	47	2,240	105,280
	19	徳島商店	33	2,160	71,280				80	2,207	176,560
	24	香川商店				44	2,207	97,108	36	2,207	79,452
	27	香川商店	4	2,207	8,828				40	2,207	88,280
	30	次月繰越				40	2,207	88,280			
			117		260,108	117		260,108			

9月のA商品の商品販売益（粗利） ￥ 43,200

第4問

仕 訳 集 計 表

令和3年10月18日

借 方	元丁	勘 定 科 目	元丁	貸 方
437,000		現 金		276,000
245,000		売 掛 金		187,000
99,000		買 掛 金		172,000
		仮 受 金		250,000
		売 上		245,000
355,000		仕 入		6,000
1,136,000				1,136,000

総 勘 定 元 帳

現 金 1

※1,876,000	10/18	276,000
10/18	437,000	

仕 入 51

※39,256,000	10/18	6,000
10/18	355,000	

仕入先（買掛金）元帳

長 崎 商 店 1

10/18	6,000	※251,000
10/18	172,000	

※10月17日までの残高である。

第5問

精 算 表

勘 定 科 目	残 高 試 算 表		整 理 記 入		損 益 計 算 書		貸 借 対 照 表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	216,000		8,000	1,000			223,000	
当 座 預 金	472,000						472,000	
受 取 手 形	255,000						255,000	
売 掛 金	167,000			2,000			165,000	
貸 倒 引 当 金		2,100		6,300				8,400
売買目的有価証券	188,000		25,300				213,300	
繰 越 商 品	272,000		363,000	272,000			363,000	
仮 払 金	50,000			50,000				
仮 払 法 人 税 等	9,000			9,000				
備 品	300,000						300,000	
備品減価償却累計額		162,000		54,000				216,000
買 掛 金		213,000						213,000
資 本 金		800,000						800,000
資 本 準 備 金		400,000						400,000
利 益 準 備 金		240,000						240,000
繰越利益剰余金		18,900						18,900
売 上		5,086,000				5,086,000		
受 取 手 数 料		284,000	12,000			272,000		
仕 入	3,827,000		272,000	363,000	3,736,000			
給 料	996,000		28,000		1,024,000			
消 耗 品 費	94,000			6,000	88,000			
支 払 家 賃	360,000		5,000		365,000			
	7,206,000	7,206,000						
旅 費 交 通 費			42,000		42,000			
(貸 倒 損 失)			2,000		2,000			
雑 (益)				4,000		4,000		
貸倒引当金繰入			6,300		6,300			
減 価 償 却 費			54,000		54,000			
有価証券運用損益				25,300		25,300		
(消 耗 品)			6,000				6,000	
(未 払) 給 料				28,000				28,000
(前 受) 手 数 料				12,000				12,000
法 人 税 等			21,000		21,000			
(未 払) 法 人 税 等				12,000				12,000
当期純(利 益)					49,000			49,000
			844,600	844,600	5,387,300	5,387,300	1,997,300	1,997,300

2021 年 11 月 28 日（日）施行

第 204 回 全経簿記能力検定試験 2 級 商業簿記 解説

第 1 問

1. 前期末に見越し計上していた借入金の利息の仕訳

(借) 支 払 利 息	27,000	(貸) 未 払 利 息	27,000
-------------	--------	-------------	--------

再振替仕訳とは、前期末に行った仕訳の逆仕訳を行って費用を翌期首にもとに戻すことをいう

(借) 未 払 利 息	27,000	(貸) 支 払 利 息	27,000
-------------	--------	-------------	--------

2. 売掛金について、取引銀行を通じて電子債権記録機関に発生記録を行った場合には、売掛金勘定から電子記録債権勘定に振り替える処理をする。

3. 事業規模拡大のため、新たに株式を発行した場合には、資本金勘定を用いて処理をする。ただし、問題文中に、1 株あたりの払込金額のうち、¥10,000 は資本金として計上しないことにした。とあるため、1 株あたりの払込金額のうち ¥10,000 は、資本準備金勘定を用いて処理をする。

なお、株式の発行に要した諸費用は、株式交付費勘定を用いて処理をする。

資 本 金 の 金 額 $600 \text{ 株} \times ¥10,000 = ¥6,000,000$

資本準備金の金額 $600 \text{ 株} \times ¥10,000 = ¥6,000,000$

4. 営業用の陳列棚（備品）を売却した場合、売却価額と帳簿価額（取得原価－減価償却累計額）との差額は、固定資産売却益勘定又は固定資産売却損勘定を用いて処理をする。

代金について、相手振出しの約束手形を受け取った場合には、受取手形勘定ではなく、営業外受取手形勘定を用いて処理をする。

売却価額 ¥ 30,000

帳簿価額 $¥600,000 - ¥420,000 = ¥180,000$

差 額 $¥180,000 - ¥ 30,000 = ¥150,000$ 固定資産売却損となる。

5. 繰越利益剰余金を配当および処分した場合には、繰越利益剰余金勘定を減少させ、未払配当金勘定、利益準備金勘定、別途積立金勘定を用いて処理をする。

6. 法人税の確定申告を行い、未払分を支払った場合には、未払法人税等勘定を用いて減少の処理をする。

法人税等を計上した仕訳

(借) 法 人 税 等	×××	(貸) 仮払法人税等	×××
		未払法人税等	720,000

7. 愛知支店が、当期純利益を計上した場合には、損益勘定から本店勘定へ振り替える処理をする。

第2問

(期首)

資産総額

現金・預金 ¥1,231,000 + 売掛金 ¥385,000 + 商品 ¥297,000 = ¥1,913,000

負債総額

買掛金 ¥463,000 + 借入金 ¥550,000 = ¥1,013,000

純資産

資産総額 ¥1,913,000 - 負債総額 ¥1,013,000 = ¥900,000

(期末)

資産総額

現金・預金 ¥ X + 売掛金 ¥377,000 + 商品 ¥320,000 = ¥ ?

負債総額

買掛金 ¥481,000 + 借入金 ¥500,000 = ¥981,000

純資産

資産総額 ¥ ? - 負債総額 ¥981,000 = ¥ ?

当期純利益

収益総額

純売上高 総売上高 ¥2,813,000 - 売上値引高 ¥87,000 = ¥2,726,000

純売上高を除く期間中の収益総額 ¥191,000

収益総額 純売上高 ¥2,726,000 + 純売上高を除く期間中の収益総額 ¥191,000 = ¥2,917,000

費用総額

純仕入高 総仕入高 ¥2,325,000 - 仕入返品高 ¥69,000 = ¥2,256,000

売上原価 期首商品 ¥297,000 + 純仕入高 ¥2,256,000 - 期末商品 ¥320,000 = ¥2,233,000

売上原価を除く期間中の費用総額 ¥657,000

費用総額 売上原価 ¥2,233,000 + 売上原価を除く期間中の費用総額 ¥657,000 = ¥2,890,000

当期純利益

収益総額 ¥2,917,000 - 費用総額 ¥2,890,000 = 当期純利益 ¥27,000

売上総利益

純売上高 ¥2,726,000 - 売上原価 ¥2,233,000 = 売上総利益 ¥493,000

期末純資産

期首純資産 ¥900,000 - 現金配当額 ¥15,000 + 新株発行による払込額 ¥250,000

+ 当期純利益 ¥27,000 = 期末純資産 ¥1,162,000

期末現金・預金

期末負債総額 ¥981,000 + 期末純資産 ¥1,162,000 - (売掛金 ¥377,000 + 商品 ¥320,000)

= 期末現金・預金 ¥1,446,000

第3問

9月1日 前月繰越 30個 @¥2,000 ¥60,000

9月3日 商品有高帳の受入欄に記入

(借)	仕	入	120,000	(貸)	買	掛	金	120,000
-----	---	---	---------	-----	---	---	---	---------

9月7日 商品有高帳の払出欄に記入

(借)	買	掛	金	12,000	(貸)	仕	入	12,000
-----	---	---	---	--------	-----	---	---	--------

9月10日 商品有高帳には原価で払出欄に記入

(借)	売	掛	金	78,400	(貸)	売	上	78,400
-----	---	---	---	--------	-----	---	---	--------

9月15日 商品有高帳には記入しない

(借)	売	上	4,200	(貸)	売	掛	金	4,200
-----	---	---	-------	-----	---	---	---	-------

9月19日 商品有高帳の受入欄に記入

(借)	仕	入	71,280	(貸)	買	掛	金	71,280
-----	---	---	--------	-----	---	---	---	--------

9月24日 商品有高帳には原価で払出欄に記入

(借)	売	掛	金	132,000	(貸)	売	上	132,000
-----	---	---	---	---------	-----	---	---	---------

9月27日 商品有高帳には原価で受入欄に記入

(借)	売	上	12,000	(貸)	売	掛	金	12,000
-----	---	---	--------	-----	---	---	---	--------

純売上高

$$¥78,400(9/10) - ¥4,200(9/15) + ¥132,000(9/24) - ¥12,000(9/27) = ¥194,200$$

売上原価：商品有高帳より

$$¥62,720(9/10) + ¥97,108(9/24) - ¥8,828(9/27) = ¥151,000$$

商品販売益（粗利）

$$¥194,200(純売上高) - ¥151,000(売上原価) = \underline{¥43,200 \text{ 商品販売益(粗利)}}$$

第4問

①入金伝票

10月18日	(借)	現	金	250,000	(貸)	仮	受	金	250,000
10月18日	(借)	現	金	187,000	(貸)	売	掛	金(福岡)	187,000

②出金伝票

10月18日	(借)	仕	入	183,000	(貸)	現	金	183,000
10月18日	(借)	買掛金(佐賀)		93,000	(貸)	現	金	93,000

③振替伝票

10月18日	(借)	売	掛	金(熊本)	245,000	(貸)	売	上	245,000
10月18日	(借)	仕	入	172,000	(貸)	買	掛	金(長崎)	172,000
10月18日	(借)	買	掛	金(長崎)	6,000	(貸)	仕	入	6,000

※ 総勘定元帳の現金勘定および仕入勘定には、仕訳集計表より合計転記をする。

※ 仕入先(買掛金)元帳の長崎商店勘定には、各伝票より個別転記をする。

第5問

付記事項

1. 仮払金の清算の処理

(借) 旅 費 交 通 費	42,000	(貸) 仮 払 金	50,000
現 金	8,000		

2. 売掛金の貸倒れの処理

(借) 貸 倒 損 失	2,000	(貸) 売 掛 金	2,000
-------------	-------	-----------	-------

決算整理事項

1. 現金の処理

帳簿残高 ￥216,000 + ￥8,000 (付記事項1.) = ￥224,000

実際有高 ￥223,000

差額 ￥224,000 - ￥223,000 = ￥1,000 (実際有高に合わせるため、現金を減少させる)

家賃￥55,000を支払った際に支払家賃勘定には￥50,000しか計上されていない。

よって、支払家賃が￥5,000記入漏れであることがわかる。

残額は、原因が判明しなかったため、雑益勘定を用いて処理をする。

(借) 支 払 家 賃	5,000	(貸) 現 金	1,000
		雑 益	4,000

2. 売上原価の算定

(借) 仕 入	272,000	(貸) 繰 越 商 品	272,000
繰 越 商 品	363,000	仕 入	363,000

3. 貸倒引当金の見積もり

(借) 貸倒引当金繰入	6,300	(貸) 貸 倒 引 当 金	6,300
-------------	-------	---------------	-------

{ ￥255,000 + (￥167,000 - ￥2,000 (付記事項2.)) } × 2% = ￥8,400

￥8,400 - ￥2,100 = ￥6,300

4. 減価償却費の計上

(借) 減 価 償 却 費	54,000	(貸) 備品減価償却累計額	54,000
---------------	--------	---------------	--------

(￥300,000 - ￥300,000 × 10%) ÷ 5年 = ￥54,000

5. 売買目的有価証券の評価替え

(借) 売買目的有価証券	25,300	(貸) 有価証券運用損益	25,300
--------------	--------	--------------	--------

￥213,300 - ￥188,000 = ￥25,300 (評価益となる)

6. 消耗品費の処理

(借) 消 耗 品	6,000	(貸) 消 耗 品 費	6,000
-----------	-------	-------------	-------

7. 給料の未払高 (費用の見越し)

(借) 給 料	28,000	(貸) 未 払 給 料	28,000
---------	--------	-------------	--------

8. 手数料の前受高 (収益の繰延べ)

(借) 受 取 手 数 料	12,000	(貸) 前 受 手 数 料	12,000
---------------	--------	---------------	--------

9. 未払法人税等

(借) 法 人 税 等	21,000	(貸) 仮払法人税等	9,000
		未払法人税等	12,000

￥70,000 × 30% = ￥21,000